

今後町全体の人口総数が減少していけば、近いうちに小規模な集落は必然的に消えてなくなってしまう可能性もあります。集落を維持していくにはこれからどんなことが必要になってくるのか、また今からできることは何なのかを町民の皆さんと一緒に考え、進むべき道を見つけられればと思います。

■人口ピラミッドで見る将来の人口推移

人口ピラミッドは、男女別に年齢ごとの人口を表したグラフで、三角形（富士山型）になっているのが理想形であるといわれています。

大山町の昭和45年から平成42年（資料1から資料4）までの20年ごとの人口ピラミッド（人口推移）を見ると、20年を経るごとに横幅が小さくなってきて人口総数が減少傾向にあることがうかがえます。また、下が小さく上が大きくなってきて少子高齢化が進んでいることがわかります。これ以降はさらにこの傾向が顕著に現れていきます。

■本町や集落を取り巻く現状

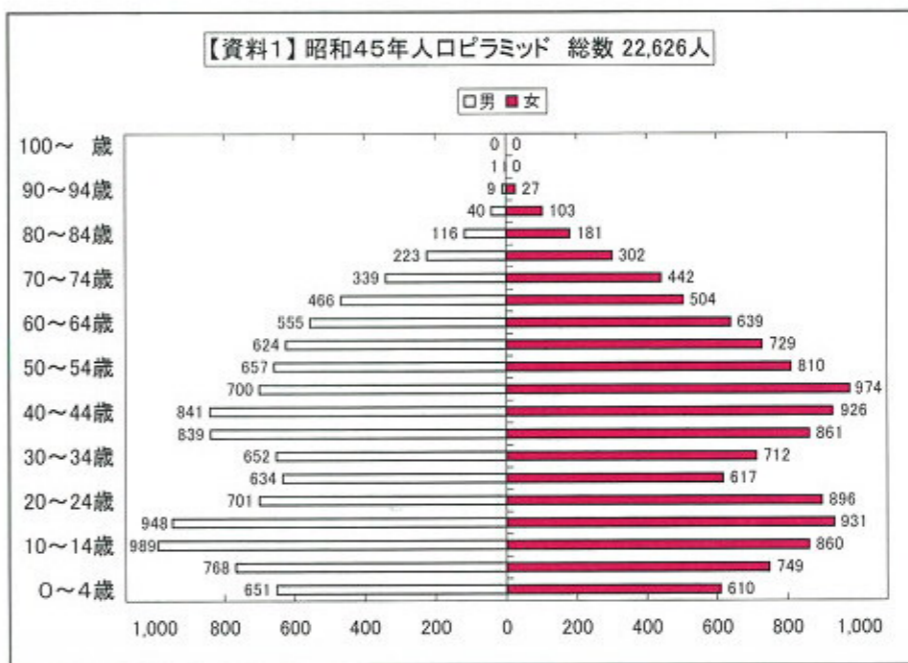
本町も合併して丸4年が経とうとしています。集落を取り巻く現状は、少子高齢化や晩婚化に伴い人口減少が顕著に見られるようになってきました。その中でも子育て世代の年齢層が少なくなり集落の活力がそがれ、リーダーがいなくなりつつある現状では、単独で集落活動や地域活動を活性化させることはもとより、維持することさえ困難になりつつあります。また、日常生活に迫られ地域活動をする際に人が集まらず、祭りやスポーツなどができなくなるなど、人と人のふれあいが希薄になってきている面も見えます。

一方では、国・地方を取り巻く財政事情はたいへん厳しいものがありますし、地方分権改革の中で道州制の導入が検討されるなどさらなる自治体の広域化が考えられています。そうなる中、役場が隅々にまで、目配りをするのは、きわめて困難になってくるのが予想されます。

■これからの取り組みは？

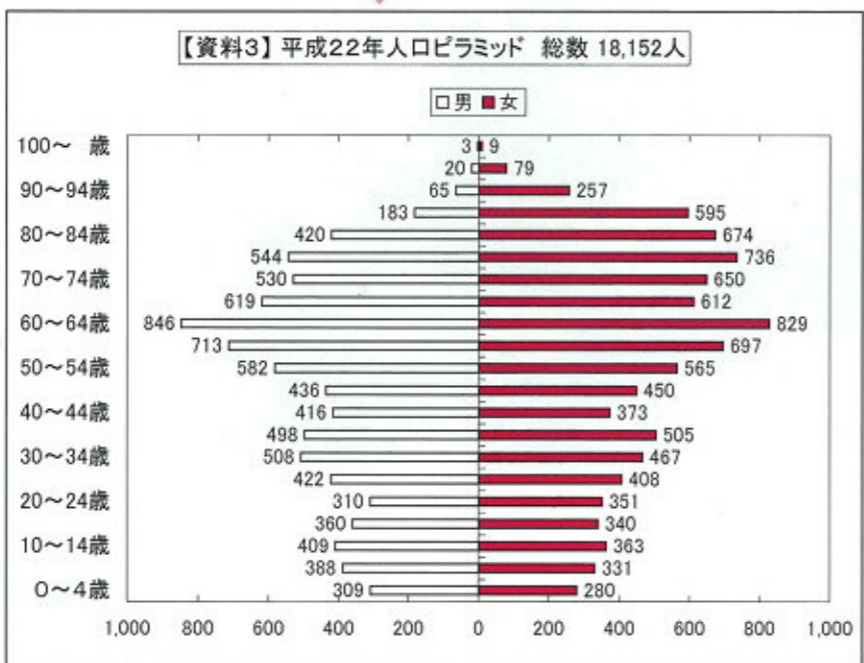
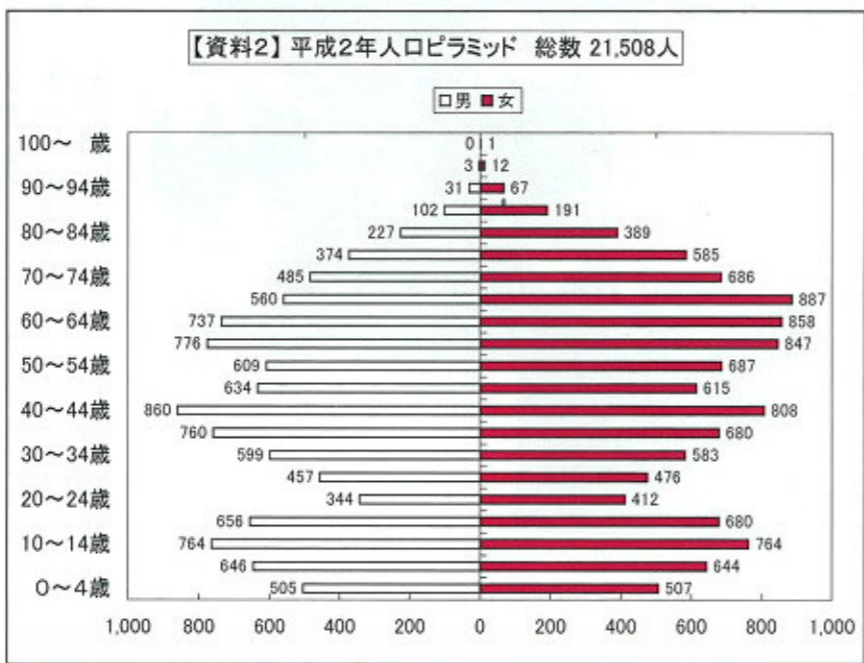
「誰かがするだろう」「それは行政の仕事だ」と無関心や人任せしていると、住民同士の連帯感はなく、地域はどんどん寂れていくのではないのでしょうか。地域に住んでいる人が、よりよい地

近い将来の集落のあり方を一緒に考えてみませんか？

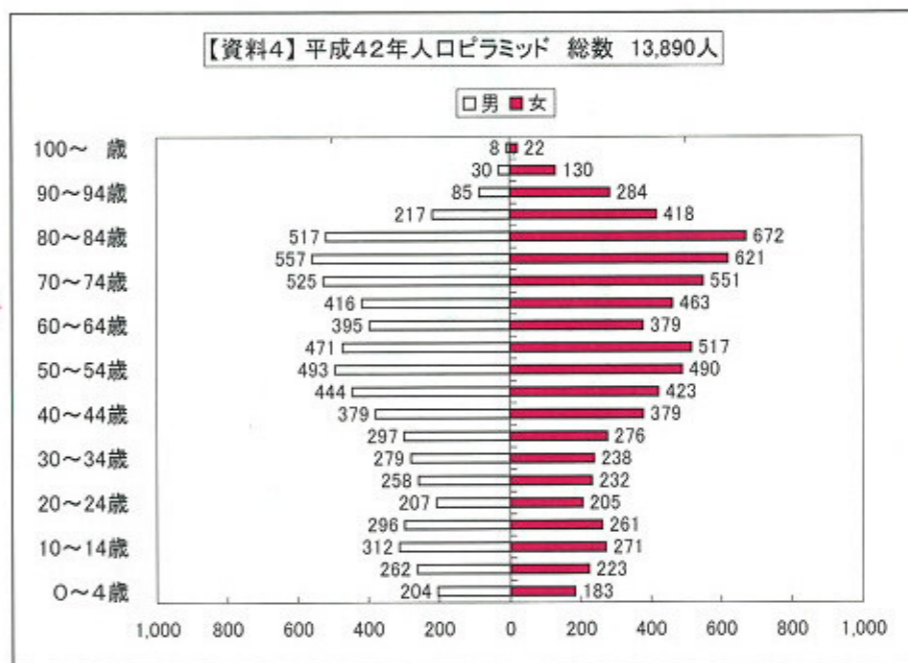


20年後

20年後



※資料1および2の人口は旧町を合算した値。



(資料：資料1および2は国勢調査。資料3および4はコーホート変化率法により算出) 企画情報課推計

域をつくらなければならない。安心して安全に暮らすために、まだまだ集落の力があるうちに集落の課題や問題点、今後のあり方、さらに、もっと広い範囲での地域づくりのあり方などを含めて真剣に考えなければならぬのではないのでしょうか。

皆さんも「何とかしなくてはいけない」と思っても、「どうしたらよいのかかわからない」のが実情かもしれません。一人ひとりがあれこれ悩むのではなく、これからみんなが一緒に考えて話し合える話し合いの場づくり、組織づくりについて検討していきましょう。

◆問い合わせ先
企画情報課
☎ 0859-545202